

2016年度 第3回 スポーツ・健康科学研究科委員会議事録要旨

日 時： 2016年 6月 28日(火) 午後1時30分～午後3時40分

場 所： 東松山校舎 9号館会議室

構成員： 12名(定足数 7名)

出席数： 11名(定足数充足)

議 長： スポーツ・健康科学研究科委員長

《報告事項》

1. 平成28年度私立大学等改革総合支援事業について

議長より平成28年度私立大学等改革総合支援事業について説明がなされた。本年度から学部のみではなく学部・大学院での取り組みが評価対象になっていることの変更点について報告がなされた。

大学として得点を上昇させるために傾向と対策だけでなく、認証評価との整合性も踏まえて、取り組んでいくべきではないかとの意見が多数あった。

2. FD委員会からの報告について

議長より全学FD委員会から、研究科独自のFD活動を行い、活動報告書を提出依頼されているとの報告がなされた。また7月～10月に実施される全学のアクティブ・ラーニング研究会(理論編・実践編)の紹介がなされ、大学院担当教員全員が参加するよう促された。

3. 大学院進学相談会の実施内容について

議長より資料の通り7月2日(土)午後 板橋校舎にて本学全体の大学院進学相談会が実施されることが報告され、また本研究科独自説明会についても日程の確認がなされた。

4. 今夏の節電に対する基本的な考え方と対策について

議長より本年度も昨年度同様に今夏の節電対策について報告がなされた。

5. 学位論文審査基準の公開について

議長よりホームページのリニューアルにともない全研究科の審査基準が掲載されたことが報告された。

6. 大東文化大学大学院法務研究科(法科大学院)廃止に至るまでの間の教員の責任授業回数等の勤務に関する規則に係る報告について

議長より法務研究科の募集停止にともない、専任教員で責任コマが未充足の教員について、各学部での担当科目に活用してもらいたいとの文書が学長宛提出さ

れたことが報告された。

7. 東松山校舎全停電について（8/24 全停電、8/28 北側施設）

議長より 8/24 東松山校舎一斉停電、8/28 東松山北側施設停電になることが周知された。

8. その他

①修士2年生の1名が5月21日開催の修士論文構想発表会に参加できなかったため、6月20日に大東文化会館で実施したことが報告された。

②議長より「認証評価と研究科達成目標」の資料に基づいて、認証評価の各基準(章)について説明がなされ、各研究科委員会の中でも、特に教務委員会・カリキュラムWG・自己点検評価委員会・FD委員会・入試広報委員会のメンバーを中心に達成目標に係る今年度の取組みを実施するよう要請がなされた。

《報告承認事項》

1. 2016年度動物実験に関する外部検証の申請について

議長より、2016年度動物実験に関する外部検証の申請について説明があり、6月14日開催の学部教授会の承認を踏まえて、本研究科においても追認された。

2. その他

《議案》

1. 2017年度カリキュラム編成に伴う専攻科目担当教員選考審査について

議長より 2017年度カリキュラム編成に伴う専攻科目担当教員選考審査について説明があり、各選考委員会委員長から報告がなされ、来年度新規に担当する5名の教員が承認とされた。

2. 2016年度修士論文審査スケジュール等について

議長の指名により、教務委員長から 2016年度修士論文審査スケジュールについて説明があり、下記の日時に修士論文審査発表会を行うこととされた。

詳細スケジュールは資料の通り承認となった。

また、修士論文の背表紙については、本年度より年度・論文名・氏名の順で記載することとされた。

修士論文審査発表会 1月27日（金） 9時より

*午前中に口頭試問も終了する。

3. 大学院改革ワーキング・グループ答申について

議長より、大学院改革ワーキング・グループ答申に対し、5月30日開催された研究科委員長会議における各研究科の意見の紹介がなされた。前回での2つのポイント①1研究科2専攻とする。②研究科の名称「スポーツ・健康科学研究科」に「医

科学」を入れて「スポーツ・健康医科学研究科」とすることについて意見交換がなされた。意見を集約すると、現行学部に看護学科の設置が準備されつつあり、その設置がなされ完成年度を迎える時期には看護に係る修士課程の検討の必要性が想定される。したがって現段階では、3学科になった時点で検討を開始すべきではないかとのこととなった。この2点については議長の方で本研究科の意見書を取りまとめ、7月の研究科委員会で提示して、承認してもらうこととされたが、研究科委員長会議が研究科委員会の前日 25 日に開催されるため、その前に取り纏めた執行部案を承認してもらい、本研究科の総意とすることとした。

4. その他
特になし。

以 上